

7. 自家用車から地域公共交通への転換

現状

県のパーソントリップ調査では、移動時の代表交通手段として、平日、休日ともに自動車の利用が7割を超えており、通勤、通学、買い物、通院、レジャーなど、日常の多くの場面で自家用車に依存しています。このため、公共交通の分担率は低い水準にあり、特に中山間地域等では公共交通の選択肢が限られていることから、さらに自家用車への依存割合が高くなっています。

一方、これまで自家用車を主な移動手段としていた高齢者が、加齢等によって運転に不安を感じ、運転免許証の自主返納するケースがあります。県内の運転免許自主返納件数は横ばいで推移しているものの、65歳以上の運転免許保有者数は増加傾向にあります。

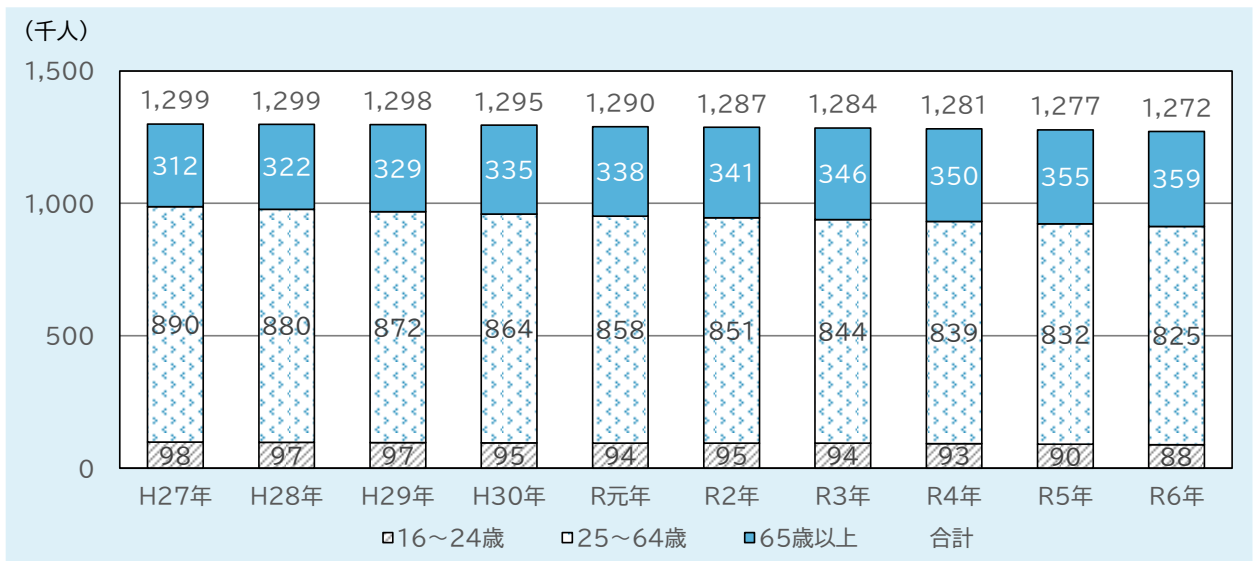


図4-7-1 岡山県内の年齢別運転免許保有者数の推移

出典：警察庁「運転免許統計」（各年）数値

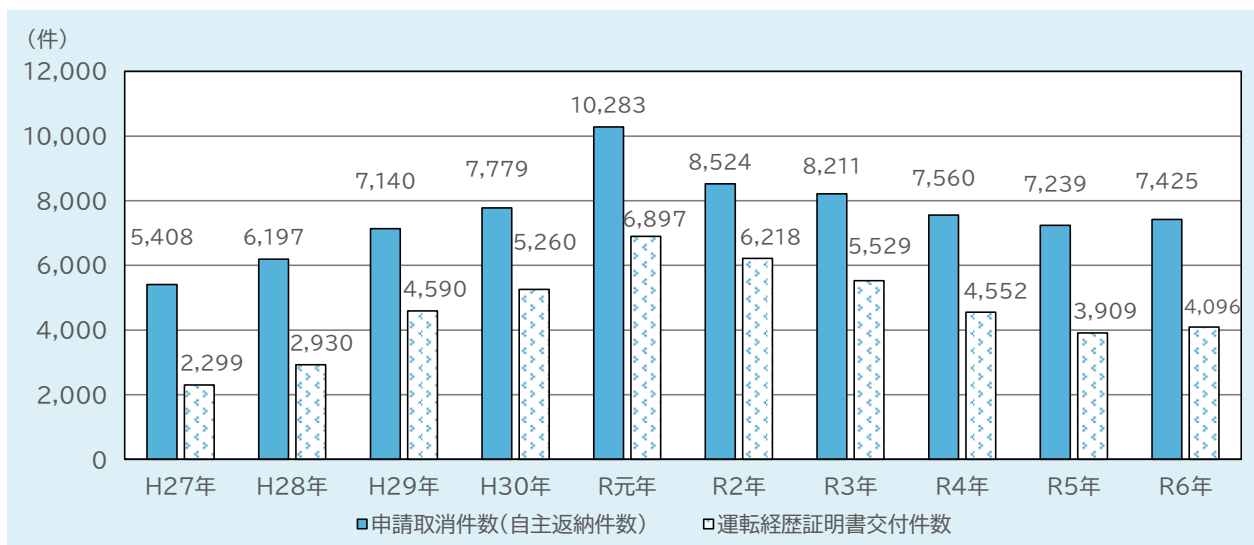


図4-7-2 岡山県内の運転免許自主返納件数の推移

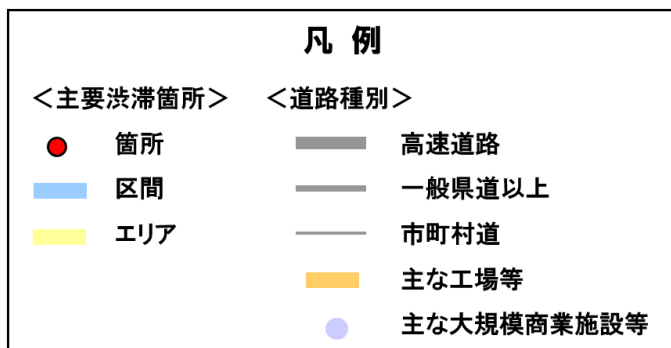
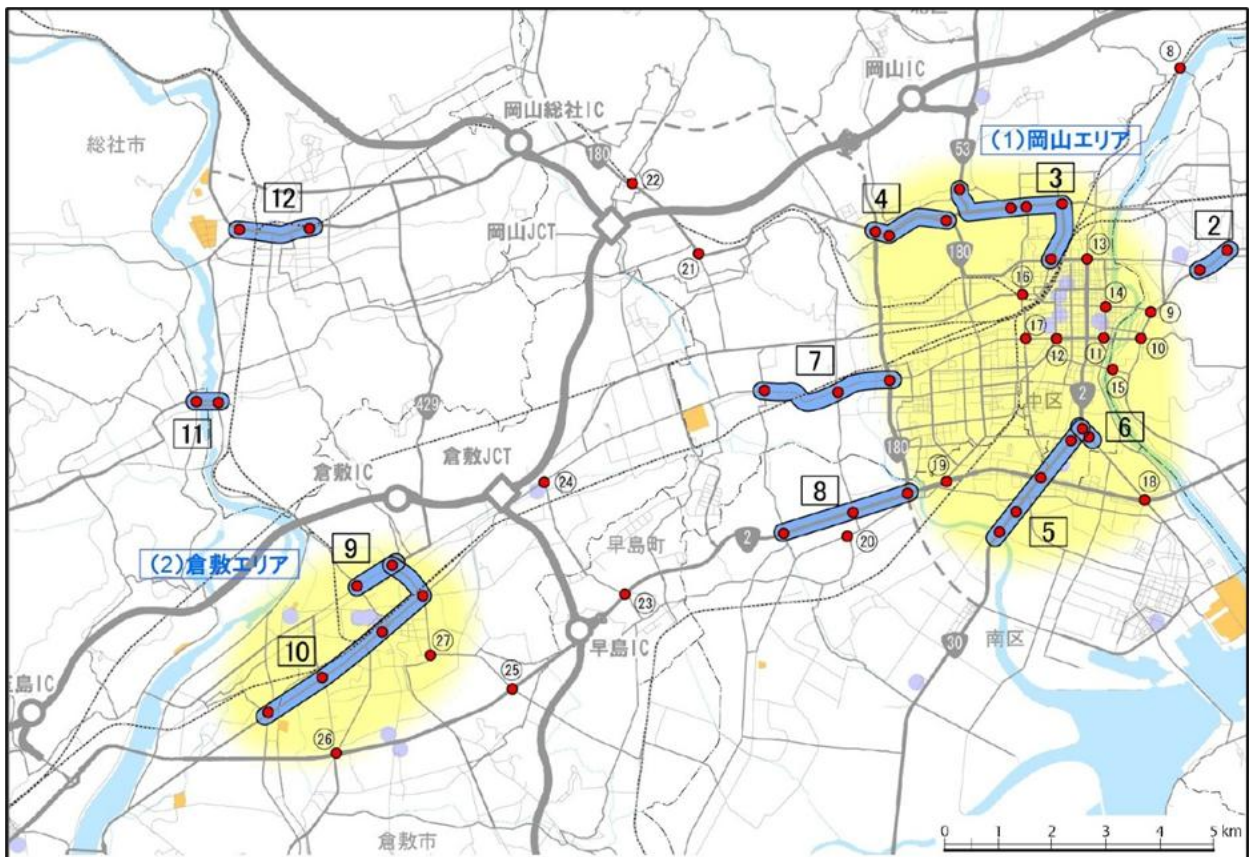
出典：警察庁「運転免許統計」（各年）数値

課題

地域別に見ると、県南都市部では、道路や公共交通網が整備されているものの、慢性的な道路渋滞の発生による移動の時間的損失や環境負荷が増大していることなどを踏まえ、自家用車から公共交通へ転換するための施策の推進が求められています。

一方、中山間地域等では、集落の分散等により目的地までの移動距離が長く、移動手段も自家用車に限られることが多いため、自動車の分担率が高い傾向にあります。こうした状況も、高齢者の運転免許証の自主返納が進まない要因となっており、返納後の移動手段の確保は大きな課題となっています。

□ 岡山県の主要渋滞箇所（一般道） 県南都市部



エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

箇所：単独で主要渋滞箇所を形成

図4-7-3 岡山県の主要渋滞箇所（令和7年9月1日現在）

出典：国土交通省中国地方整備局「中国地方の主要渋滞箇所」

現在の主な取組

県においては、毎月最終金曜日を「公共交通利用の日」として様々な媒体を活用しながら、公共交通の積極的な利用を呼びかけるとともに、国等と連携して、自動車から排出されるCO₂の削減や健康増進、交通渋滞の緩和、公共交通の利用促進などを目的とする「スマート通勤おかやま」に取り組んでいます。

国においては、国道2号の渋滞緩和を目的とした「GOOD ROUTE」による、時差出勤や経路変更等により渋滞を避けて移動する取組等の啓発に取り組んでいます。

市町村においては、運転免許返納後の移動手段となる乗合タクシー等、地域の実情に応じた交通サービスの導入が進められています。

また、運転免許返納者に対しては、「おかやま愛カード」による公共交通利用を含めた割引制度や、市町村によるタクシー利用券等の助成制度が設けられています。

市町村や交通事業者等が駅やバス停等の周辺に駐車場を整備することにより、自家用車から公共交通への乗り継ぎを行うパークアンドライドの取組事例もあります。

目指すべき姿

- 自家用車への過度な依存から脱却し、自家用車と公共交通が効果的に組み合わせられた効率的な移動が可能となっている。
- 運転免許を返納しても安心して移動できる交通手段が確保されている。

今後の取組

■ 過度に自家用車に頼らない移動の推進

「スマート通勤おかやま」やパークアンドライドなどの取組を通じて、過度に自家用車に頼らない移動や自家用車から公共交通への円滑な乗り継ぎを推進します。

■ 運転免許返納後の移動手段の確保

地域の実情に応じた交通サービスの導入を図るとともに、運転免許返納を検討している方に対して、安心して返納を選択できる情報提供や環境づくりに取り組みます。

期待される役割

県	<ul style="list-style-type: none"> ● 過度に自家用車に頼らない移動の推進に向けた意識啓発 ● 地域の実情に応じた交通サービス導入に取り組む市町村等への支援 ● 先進事例等の情報提供
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の実情に応じた交通サービスの導入 ● 運転免許返納を検討している方に対する適切な情報提供 ● 交通事業者と連携したパークアンドライド駐車場の整備・管理
国	<ul style="list-style-type: none"> ● 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームによる支援 ● 先進事例等の情報提供
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の実情に応じた交通サービスの導入 ● パークアンドライドの取組の実施
地域住民等	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動手段に関する積極的な情報の収集や地域コミュニティにおける周知 ● パークアンドライドの積極的な活用

